

平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	健康で互いに支え合うまちづくり	分野(章)番号	3
政策名(項)	地域福祉の推進	政策(項)番号	Ⅲ
施策名(目)	障害者福祉の充実	施策(目)番号	②
担当課	保健福祉課	担当課長	谷津 俊幸

1. 施策の基本方針

施策目的	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者が経済的に自立し、各種サービスを安定的に受けられることで住み慣れた地域で安心して生活を送れるようにすることを目的とする。
------	--

2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)							
	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の就労の場が少なく、事業所も町内には2か所しかない。 ・施設サービスだけでなく、休日、余暇活動に対応するサービスが求められている。 ・町内にある現事業所の拡充が検討されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスを提供する事業者・事業所の偏在により、サービスが平等に行きとどいていない。 ・法改正に伴って増え続ける費用の財源が確保できなくなっている。 ・障害の多様化に伴い障害者の求めるサービスも多様化している。 ・障害者自身の高齢化に伴い、介護者も高齢化が進んでいる。 							

施策指標(成果指標)	指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)							
		H23	H24	H25	H26	H27	H28目標	備考(他団体状況含む)	
主要	障害者自立支援給付延べ利用件数	目標			33,000件	33,000件	33,000件		
		実績	24,157件	33,028件	33,132件			33,000件	
		達成率			100%				
参考①	就労者数	目標			60人	60人	60人		
		実績	54人	55人	48人			60人	
		達成率			80%				
参考②	地域生活支援サービス利用件数	目標			1,990件	2,000件	2,000件		
		実績	1,603件	1,806件	2,000件			2,000件	
		達成率			101%				
参考③	障害者相談者数	目標			250人	250人	250人		
		実績	227人	297人	300人			250人	
		達成率			120%				
参考④		目標							
		実績							
		達成率							

3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		271,581千円	281,227千円	370,897千円	314,663千円	349,658千円	349,658千円
財源内訳	国庫支出金	113,949千円	129,287千円	137,871千円	140,637千円	143,154千円	143,154千円
	県支出金	75,189千円	82,080千円	82,300千円	85,529千円	86,816千円	86,816千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
従事者数	正職員	2.12人/年	2.85人/年	2.55人/年	2.55人/年	2.50人/年	2.50人/年
	臨時職員	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	14,275千円	19,434千円	17,313千円	17,313千円	16,974千円	16,974千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		1,837千円	2,665千円	2,319千円	2,319千円	2,274千円	2,274千円
トータルコスト		287,693千円	303,326千円	390,529千円	334,295千円	368,906千円	368,906千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	b	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]	・自立支援制度における各種サービスの利用件数や相談件が目標を上回っており、達成度はやや高い。	
	施策成果向上の可能性	b	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]	・施設側の受け入れ態勢の整備が進み利用しやすい体制が整うことで成果の向上が期待できる。	
	貢献度	b	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]	・施設から地域へという流れを進めている段階であるが、基盤整備が進むにつれて地域での生活が安心して送れるようになることから貢献度は高いと考えられる。		

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の社会参加の機会が増えてきている状況にはあるが、利用できる施設数及び定員の問題があり、必ずしも本人の希望に沿った就労や社会参加ができていない。 ・手帳を入手してもサービスを利用しない者もあり、サービスの内容、利用方法についての周知を図る必要がある。 ・法改正により、サービスの種類が増えたがサービスを提供する事業者の体制が整っていない。
----	--

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	・障害者福祉の制度は法令により定められているものであるが、就労者施設の充実に向け近隣市町村との連携を進めていく。
------	------------------------	---------	--

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。